

学校独自選抜資料の概要

1 実施する学校独自選抜資料等

科名	選抜段階	学校独自選抜資料	実技検査等に関する事前調査票への記載事項
普通福祉	I	実技検査 「体育的活動」	受検する実技検査の種目を記入する。(野球(男)、ソフトテニス(女)はポジションを記入する。)
普通	II	実技検査 「アートコースへの適性」	
福祉	II	作文 「学科への適性」	

2 日程 3月5日(木)

(1) 実技検査 普通 I・福祉 I 「体育的活動」

時間	内容	備考
午前中	全種目共通検査	個人面接終了後、一人ずつ聞き取り。
11:55～12:50	昼食	控室で昼食。
12:50～13:00	諸注意	控室で諸注意。全員に健康チェック。
13:00～13:15	移動、更衣	更衣室に移動し、更衣。
13:15～14:30	種目別検査	受検種目ごとに実技検査会場に移動する。点呼、準備運動後に実技検査を実施。終了後、整理体操、健康チェックを終了した者から更衣、下校。

(注) 種目別検査の会場や時間は、志願状況に応じて、入れ替えることがあります。その場合は、3月4日(水)に受検者に連絡します。

(2) 実技検査 普通 II 「アートコースへの適性」

時間	内容	備考
午前中	聞き取り検査	個人面接終了後、一人ずつ聞き取り。
11:55～12:50	昼食	控室で昼食。
12:50～13:15	移動	実技検査会場へ移動、諸注意。
13:15～14:45	実技検査	終了後、下校。

(3) 作文 福祉 II 「学科への適性」

時間	内容	備考
11:55～12:50	昼食	
12:50～13:00	移動	
13:00～13:30	作文	
13:30～	聞き取り検査	一人ずつ聞き取り。終了後、下校。

(注) 作文・聞き取り検査の会場や時間は、志願状況に応じて、入れ替えることがあります。その場合は、3月4日(水)に受検者に連絡します。

3 学校独自選抜資料の概要

(1) 実技検査 普通Ⅰ・福祉Ⅰ 「体育的活動」

ア 全種目共通検査

所要時間	検査内容・携行品	場 所
5分程度 /1人	当該種目についての聞き取り 高校入学後の活動意欲、当該種目に関する知識・理解、中学時代の活動状況、その他 【携行品】なし	聞き取り検査室Ⅰ

イ 種目別検査

種目名	検査内容・携行品
所要時間	
場 所	
野 球 (男)	1 キャッチボール 2 キャッチボール (クイックスロー) 3 トスによるバッティング 4 (1) 投手 (シャドーピッチング、ゴロに対する対応技術及び捕球、送球技術) (2) 捕手 (ワンバウンドに対する対応技術及び捕球、送球技術) (3) 内野手 (ゴロに対する対応技術及び捕球、送球技術) (4) 外野手 (ゴロに対する対応技術及び捕球、送球技術) ※1～3は全員、4の(1)～(4)は一種目選択する。 ※本校で用意するソフトボール1号球とソフトボール用バットを使用する。 【携行品】体育着 (ユニフォーム及び練習着は不可)、体育館シューズ、グローブ (キャッチャーミットも可) (硬式用又は軟式用も可)
30分	
第2体育館	
バスケットボール	1 ゴール下シュート (マイカンドリル) 2 ドリブルからのターン (レッグスルー、ロールターン、バックチェンジ) 3 シュート (レイアップシュート、セットシュート又はジャンプシュート) 4 対人形式 ※本校で用意するバスケットボール6号球 (女子)、7号球 (男子) を使用する。 【携行品】体育着 (ユニフォームも可)、体育館シューズ (バスケットボールシューズも可)
30分	
第1体育館	
ハンドボール (男)	1 ボールハンドリング 2 ドリブル (ジグザグドリブル) 3 パス・キャッチ (ショルダーパス、ランニングパス、ワンマン速攻) 4 シュート (ランニングシュート、ステップシュート、ジャンプシュート) ※本校で用意するハンドボール2号球 (男子) を使用する。 【携行品】体育着 (ユニフォームも可)、体育館シューズ (ハンドボールシューズも可)
30分	
第2体育館	
ソフトテニス (女)	1 サービス 2 フォアストローク 3 バックストローク 4 (1) 前衛 (ボレー・スマッシュ) (2) 後衛 (基本ストローク) ※1～3は全員、4の(1)～(2)は一種目選択する。 【携行品】体育着 (ユニフォームも可)、体育館シューズ、ラケット
30分	
第1体育館	

(2) 実技検査 普通Ⅱ 「アートコースへの適性」

ア 聞き取り検査

所要時間	検査内容・携行品	場 所
5 分程度 /1 人	高校入学後の活動意欲、当該コースや美術に関する知識・理解の聞き取り 【携行品】なし	聞き取り検査室Ⅱ

イ 実技検査

所要時間	検査内容・携行品
場所	
90 分 書道室	鉛筆デッサン及び色彩表現 ※与えられたテーマ、条件に従って鉛筆及び絵の具で表現する。 【携行品】鉛筆 2～3 本（HB～4 B）、消しゴム、鉛筆削り、水彩絵の具（アクリル絵の具も可）、パレット、絵筆、雑巾、直定規（30 c m 程度）、コンパス

(3) 作文 福祉Ⅱ 「学科への適性」

ア 聞き取り検査

所要時間	検査内容・携行品	場 所
5 分程度 /1 人	高校入学後の活動意欲、福祉、医療、看護分野への適性と活動意欲の聞き取り 【携行品】なし	聞き取り検査室Ⅲ

イ 作文

検査内容
与えられたテーマに沿って 400 字程度で記述する。(30 分)

4 注意事項

- (1) 実技検査は、当該種目又はコースに関する適性、技能、表現、活動意欲を評価します。スピード、距離及びタイムを競うものではありません。
- (2) 病気・けがなど、健康上の問題がある場合、運動を伴う実技検査は受けられません。
なお、実技検査の追検査は行いません。
- (3) 実技検査中の負傷等については会場校が応急措置を行います。運動を伴う実技検査を受検する場合には、傷害保険への加入をおすすめします。
- (4) 必要に応じて、昼食・水筒（飲料）・防寒着等を準備してください。

5 問い合わせ先

県立富士宮東高等学校 電話 0544 - 26 - 4177